

## アドバイスが色々ありました

5/17(土) 20 名参加

会場: クリニックふれあい早稲田

初めに大場先生から「レビー小体病」についてお話していただきました。記憶障害の他に、パーキンソン症状(小刻みで前かがみの歩行など)があり、ありありとした「幻覚」があるのが特徴です。アリセプトはかえって症状を悪くすることもあるので注意して使わないといけないということです。

男性のMさんは、今回で 2 回目の参加ですが、76 歳の奥さんを 5 年間見てきて、徘徊と、風呂を嫌がって着替えをしないことに困っているとのこと。玄関のチェーンを引きちぎったり、5 階のベランダの柵を乗り越えようとしたり。

アドバイスとして、それまでして外に出たい気持ちをただ押さえてもダメで、何か目的があるはずなので、後をついて歩くのがよいのではないかと、昼疲れたら夜眠ってくれるのではないかと。また、着替えはお茶などをワザとこぼして「汚れたから替えよう」と言ったら替えられましたよ。風呂はデイサービスで入っていれば毎日入らなくてもよいのではないかと、などと経験者から話が出ました。

九州で一人暮らしの母親がアルツハイマー病と言われ、現在はデイサービスやヘルパーを使っているが、今後どうすればよいのかと、離れて暮らす娘さんの相談もありました。

こちらに引き取って、急に新しい土地に来ると病気が進むこともある、九州でグループホームを探るか、こちらに連れて来るにしても、何日間かお試し期間で様子を見たりして、その後のことを判断されたらどうか、などとアドバイスがありました。